

今 治

都内バイヤーへ売り込み

成約相次ぎ、上々の成果

今治商工会議所（愛媛県）は2019年12月8～11日および20年1月19～22日の2回にわたり、地元小規模事業者の商品（食品）を東京都内の百貨店やスーパーへ売り込む商談営業を実施した。同事業は、小規模事業者の大都市圏への販路開拓支援を目的としたもの。19年9月に同所で開催した「大都市圏への販路開拓セミナー」に参加企業で個別支援を

希望する企業の中から販路開拓支援コンサル5社の商品を選考し、「タントやデザイン」ら

専門家と味やデザイン



バイヤーに商品の魅力をアピール④、営業を行った5社の商品⑤



ン、価格などを総合的にブラッシュアップ。同所と販路開拓支援会社、事業者の3者でバイヤー6社との商談に臨んだ。

商品は「真鯛の炊き込みごはんの素」や「レモンケーキ」など

の菓子、「マコモタケのピクルス」など今治の素材を生かしたものだ。また、1月15日には東京のバイヤーを今治に招いて「食品バイヤー商談会in今治」も開催。今回支援対象の5社の商品に、過去に支援した4社の商品も加えて、訪れたバイヤー13社にPRした。1月27日時点で、支援する5社とも商品の採用が複数決まったという。バイヤー8社から延べ34品の採用が決まった事業者もあるなど成果を上げており、同所はさらなる成約に期待を寄せている。